

音楽科年間指導計画

第3学年

学習目標

- (1)進んで音楽にかかわり、音楽活動への意欲を高め、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにする態度と習慣を育てる。
 (2)旋律に重点を置いた活動を通して、基礎的な表現の能力を伸ばし、音楽表現の楽しさを感じ取るようにする。
 (3)音楽の美しさを感じ取って聴き、様々な音楽に親しむようにする。

授業の工夫

児童の生活に音楽に親しむ機会を多くもち、音楽の学習は楽しいという実感をもつように心がけていきたいと思えます。そのために、たくさんの曲を歌ったり楽器で演奏したりします。たくさんの種類の音楽を聴く機会も多くもつようにします。いろいろな楽器にふれ、音楽経験を豊かなものにしていきます。リコーダーとなかよくなるために、「リコーダーのおけいこ」を使い、タンギングに気をつけながら段階的に練習し、上達への励みとしていくことができるようにします。

年間授業計画

月	単元名	時数
4	階名になれよう	9
5	↓	
6	リコーダーに親しもう	9
7	↓	
9	いろいろな音のちがいをかんじとろう	8
10	ふしのとくちょうをかんじとろう	10
11	↓	
11	曲の気分をかんじとろう	8
12	↓	
1	音をきき合って合わせよう	11
2	↓	
2	生き生きと歌おう	5
3	↓	
年間授業時数		60

〔評価の観点〕
 【音楽への関心・意欲・態度】
 進んで音楽にかかわり、音楽活動への意欲を高めるとともに、生活を明るく潤いのあるものにするようにする。

【音楽的な感受や表現の工夫】
 曲想や音楽を特徴付けている要素を感じ取り、それらを生かした表現や鑑賞の仕方を工夫している。

【表現の技能】
 音楽を聴いたり楽譜を見たりして演奏するとともに、呼吸及び発音の仕方に気を付けて自然で無理のない声で歌ったり、音色に気を付けて楽器を演奏したり、音楽をつくったりしている。

【鑑賞の能力】
 音楽を特徴付けている要素や、楽曲の仕組みに気を付けながら、曲想の変化を感じ取って聴く。

〔評価の方法〕
 意欲的に学習しているかについては、行動観察や授業への参加態度等で評価します。その他は、歌やリコーダー等の実技テストやワークシート、身体表現などの行動観察、発表等での評価をします。